

## シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
数学	数学総合Ⅱ	普通科・3年生・文系	4
教科書 副教材等	[主たる教材] [副教材]	高等学校数学Ⅰ、A、Ⅱ、B（数研出版） イニシャルノートⅠ+A、Ⅱ+B（数研出版） Focus Z 数学Ⅰ+A、Ⅱ+B（啓林館）	

## 1 科目の目標

数学における概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高めるとともに、課題を総合的かつ多面的に考察することを通して、思考力・判断力・表現力を高め、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育成する。

## 2 科目の内容

- (1) 既習事項の総合的な復習
- (2) 発展的な内容の学習
- (3) 他の単元と関連させた総合的かつ多角的な考察
- (4) 適切なテーマによる課題学習

## 3 授業計画（総コマ数 35×4=140）

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	数学Ⅰ 第1章 数と式 第2章 2次関数 第3章 図形と計量 第4章 データの分析  ○1学期中間考査	18	公式や定理の背景にある数学的な見方や考え方に触れるよう心がける。
5月 7月	数学A 第1章 場合の数と確率 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質  ○1学期期末考査	26	
8月 10月	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数  ○2学期中間考査	36	他の単元との関連について考え、様々な別解を考えることで総合的かつ多角的に問題を扱う。
10月 12月	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 数学B 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間上のベクトル  ○2学期期末考査	36	
12月 3月	数学B 第3章 数列 「課題学習」 ・関数についての研究 ・生活の中の確率についての研究  ○学年末考査	24	

計 140 時間（55 分授業）

#### 4 学習評価

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価 の 観点 ・ 規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した知識や技能を活用し、探究しようとしている。</li> <li>数学的論拠に基づいて判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を多様な単元や分野と関連させ、総合的に事象を考察している。</li> <li>他者の考えを参考に多面的、発展的に考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象を数学的に考察できている。</li> <li>自らの思考の過程やその結果を論理的に表現でき、数学的に表現・処理できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における概念や原理・法則、用語や記号などが体系的に理解できている。</li> </ul>
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動への参加状況</li> <li>発表内容</li> <li>レポートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>質問に対する発言</li> <li>発表内容</li> <li>プリントや課題の解法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>質問に対する発言</li> <li>発表内容</li> <li>プリントや課題の解法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>質問に対する発言</li> <li>発表内容</li> <li>授業中の確認テスト</li> </ul>

#### 5 担当教員

数学科教諭

#### 6 担当者からのメッセージ

あらかじめ問題を解いておき、分からない部分を明確にして授業に臨むこと。授業のあとは、できなかった部分を中心に自力で解けるようになるまで繰り返し復習をすることが望ましい。基本的な問題から発展的な問題まで、分野を越えて取り扱っていく予定です。